

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

2009年8月31日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第26号

☎ 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16

㈹ 045-953-6727



「共に歩む市民の会」総会に参加して

相模原市精神障害者仲間の会（あしたば会）

はんざわまさたか
榛澤昌高

僕は今回「共に歩む市民の会」総会第二部のシンポジウムに参加させていただきました。

シンポジウムは当事者4人によるもので、その内の1人がコーディネーターを務め、残りの3人がシンポジストでした。会場の方からも、多く話しをしていただきました。僕もいろいろなシンポジウムに参加させていただきましたが、シンポジストが当事者だけというのは初めてでした。

シンポジウムのテーマは‘当事者はどのような支援を求めているか?’でした。シンポジストは4者4様の意見、会場からの様々な意見、とても多様な意見が出されました。というのは、当事者が求める支援というものは、共通のものもありますが、一人ひとりが違うものも求めています。その人その人の置かれている環境、障害の程度、考え方によって支援の仕方が変わってきます。援助において個別化の重要性が言われるのもそのためです。

今回、事前の打ち合わせとシンポジウム当日に、旭区のピア活動家と交流させていただき、いろんなことを感じ、とてもいい刺激も受けました。

印象に残る意見をたくさんうかがいました。

「障害ゆえに自由が奪われる。ゆえに自由を求める」

「仲間とはピアだけではない」

「専門知識は孤独を癒せない、ひとりぼっちを無くせるのは仲間」

「当たり前のことが当事者ゆえに許されない、働くこと、子を生み育てること」

「精神障害は目に見えない。だから身体と違って、バリアフリーが何か分かりにくい」

僕自身が‘当事者はどのような支援を求めるか’というテーマで伝えたかったこと。

自立支援とは、当事者が治療・訓練で機能回復するという‘本人への働きかけ’だけではなく、偏見・差別をなくし法律・制度・社会資源を整備するなどの‘環境への働きかけ’も重要です。ただ、より重要なのは、自立のためには心の支えと生きがいです。心の支えとは、仲間の支え・周りの人の真心の支えです。生きがいとは、自分が何か打ち込めるものを見つけることです。

心の支えと生きがいは‘生きる力’です。精神障害という困難と戦うのに生きる力は不可欠です。それに、生きる力というのは人生における精神障害以外の困難を乗り越えるのにも不可欠です。精神障害者が自立するには精神障害以外の困難も乗り越えなければなりません。

こういう生きるうえで大切なことを、僕はピア活動で学ぶことが出来ました。ピア活動というのは、自立支援の一つの形になり得ると思います。今回のシンポジウム参加で、あらためてこのことを感じました。



第5回 共に歩む市民の会 総会

< 平成21年6月27日(土) 旭区役所大会議室にて >



共に歩む市民の会 第5回総会報告

旭福祉保健センター 森 輝幸

梅雨も中休みの晴れわたる中、6月27日（土）旭区役所大会議室において、共に歩む市民の会第5回通常総会が行われました。正会員70名、団体会員9団体のうち、出席者正会員29名、団体会員2団体、委任状31通の提出により、定数に達し、総会は成立となりました。

司会はあけぼの会の長谷川さん、議長は葦の会の村木さんが務め、五つの議案は全て可決されました。

1号議案（事業報告）では、ほっとぽつとの本人平均来所者数が31人で、増加傾向にあることが報告されました。今後、事業と相談の兼ね合いが課題となるようです。地域ふれあい事業の説明では、文化活動こそが、当事者でもそうでない方でも分かり合える一番の近道ではないかという話もありました。また、退院促進事業では、支援期間6ヶ月ではおさまらない、本人のペースに合わせた支援が必要となっていていることや、当事者との合同支援、ほっとぽつと宿泊訓練の重要性が話されました。

3号議案（事業計画）では、事務局体制を整備し、各関係者、担当の連携の風通しをよくしていくことの必要性が話にあがりました。

最後にほっとぽつと新職員の紹介（小原さん、佐久間さん、提箸さん）があり、無事総会は終了しました。支援を必要とする人が増える中、関係者が連携し、事業の充実をはかっていく必要性を感じました。

◆ 会員の方へ 会費納入のお願い ◆

21年度の会費をまだ納めていない方は下記へお振込くださいようお願い致します。

郵便振替口座番号 00280-6-132476

加入者名 特定非営利活動法人 共に歩む市民の会



新理事長 深井浩治さんインタビュー

今回の総会において田山さんに代わり、新理事長に就任された深井さんに、総会Ⅱ部の総括を含め、お話をうかがいました。

●今まで深井さんは、市民の会でどのような役割を担ってこられたのですか。

○語らい電話のスーパーバイザー（助言者）、ふくろう電話の立ち上げから関りその受け手、市民の会の副理事長などをしてきました。

●理事長になった経過を聞かせてください。

○田山さんの次という順番だったんです（笑）。副理事長でもあったので。



●理事長になってみての感想

○難しいですね。話を進めていく立場になってきたので大変です。

●これから共に歩む市民の会で取り組んでいきたいことはどのようなことですか。

○まだ模索中です。ふくろう電話の充実や夜間の拠点づくりなど色々考えはありますが、作り上げるまでの大変さも分かります。

●ここからは、市民の会総会の第Ⅱ部「当事者は何を求めるか？」のディスカッションについてお話ください。ゲストの榛澤さんを中心に話が盛り上がりましたが、企画の経過を教えてください。

○まず、榛澤さんが身近な存在だったこと。今までも市民の会と交流があり、ピアの話をしてきました。榛澤さん自身もまた、関わり（リベンジ？）を持ちたいと思っていたようです。

●深井さんもトークに参加されていましたが、どんな印象をもちましたか。

○ラフに話せたし、会場の人も巻きこむことができたので、うまくいったと思います。

●特に皆さんに伝えたかったことを改めてお話ください。

○僕自身が知りたかった。次にどんな風に行動していくべきか、教えてもらおうという気持ちでした。

●深井さんの中で“ピア”とはどのようなものですか。

○仲間とよく言われるけど、友達とピアは違うと思う。友達は、仲良くなつて知り合つてという過程をたどるけど、同じ病気や悩みを共有しあえたらもうピアなのだと思う。

●最後に、広報を見てくれた会員の皆さんに一言お願いします。

○ほっとぼとだけでなく、今後は共に歩む市民の会にも目を向けてほしいと思います。

病み上がりの中、深井さんにはこころよくインタビューに応じていただきました。今後、新理事長のもとで、新たな試みもでできそうです。ご無理せずに活躍ください。

文責 旭福祉保健センター 森

会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名もの方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思います♪

第9回目は、今年度からの、ほっとぽつとのニューフェイス、提箸さんと小原さんです。

No.13 提箸 はるか さん

Q. 所属は？

A. ほっとぽつと職員（産休代替）

Q. どんなお仕事されますか？

A. ランチ作り・事務・電話等の相談など
など…

Q. (周りの人から) 提箸さんてどんな人？

A. 提箸さんはのほほんとしていて、
何を考えているのか分からないけど、
提箸さんの笑顔やそのキャラクターで
みんなを癒してくれる。

No.14 小原 至貴 さん

Q. 所属は？

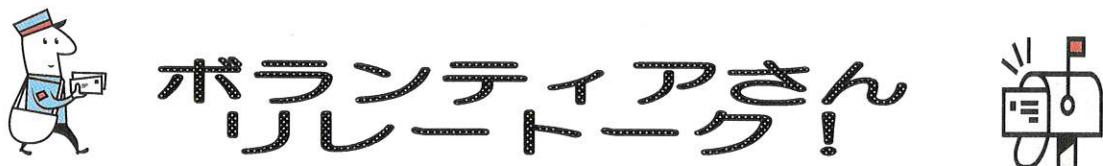
A. ほっとぽつと職員 退院促進事業担当

Q. どんなお仕事されますか？

A. 長い間入院している人が退院する為
のお手伝いをしています。

Q. (周りの人から) 小原さんてどんな人？

A. 小原さんはいつもゆる~い坂を上って
いるような人。
たまに、マリオのBダッシュのように走り
始める。
あまり、職員っぽくない。(笑)



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。

前回の“紙芝居のおじさん としょくん”からバトンを手渡されたのは・・・

第10回は夕食会のTさんです。

私は毎週金曜日に夕食会で調理を担当しています。その日は、3時に人数が決まる買い物をして、4時頃にはほっとぽつとに着いて調理をはじめます。6時までに、皆さんによろこんでもらえる料理が仕上がるかしらと心配しながら家を出るものですから、常に手伝いの人がいてくれるのは本当にうれしいことです。

多くの人と一緒に食事をすると同じものを食べても一人で食べる時よりずっとおいしく感じませんか？私は大好きです。小さいときは祖父や祖母のいるにぎやかな家庭で育ったので、今でもさみしいのは苦手です。

遠くの親せきより近くの友達です。これからは地域でささえあってゆくのがますます大切になってくると思いますので、今からでも友達の輪を広げてゆけたらと思います。夕食会がその手伝いになって多くの人が利用してくれるとうれしいです。

夕食会 Tさん

市民の会・ほっとぽっと



スケジュール '09.9月～

『市民の会幹事会』

- ◆ 最近の会では・・・5月は保土ヶ谷病院相談室の矢崎さん、7月はほっとぽつの佐久間さん、新たに旭区で働き始めたお二人が登場し、各自の体験に基づくフレッシュな話題を提供していただきました。
- ◆ 次回は・・・8月 26日(水) 18:30～20:00 ほっとぽっと本館2Fにて
“その人を知るシリーズ”はお休みとし、久しぶりに各団体や参加者の最近のようす、近況などを交流します。あわせて、今後の幹事会の持ち方についても皆さんで意見交換できたらと思います。ぜひご参加ください。
(幹事会世話人グループより) なお、9月はお休みの予定です。

いつもと違った「ほっと」でホッと！ 旭区の支え合いの輪を地域に伝えよう

『旭ふれあい区民まつり』 10月 18日(日) 10時～15時 雨天実施

～今年も「自治会町内会＆ほっとぽっとコーナー」に「市民の会」として参画します～

ほっとぽっと前の公園・本館・別館にて

休憩所／喫茶／ゲーム／模擬店／フリー・マーケット／公開 SST／ステージ（松井イチローコンサート他）

別館ギャラリー（絵手紙6人展・パネル画・手織展示）／ケーリング クラウ …他 お楽しみ色々…

→9月1日(火)17:30～ 実行委員会 ほっとぽっと別館にて 祭り好きの人、飛び入り歓迎！

文化の秋を満喫・・・街の小さな文化館 ほっと たつはな亭

会場＝ほっとぽっと別館 ・・・お問い合わせ・予約は「ほっとぽっと」まで

☆ 過ぎゆく夏に贈る奏べ～詩吟 + 箏の演奏 + 朗読～ 9月3日(火)

14:00 開演（開場 13:30） 入場料/一般 500円・手帳をお持ちの方 300円

当事者と地域の演奏家・朗読者が出会う中から生まれた「自主企画」第4弾。要予約（25名）

☆ サクソフォン&クラリネット・コンサート 9月25日(金)

山本直人（サクソフォン）梅本由紀（クラリネット） 曲目：シリエンヌ、ディズニーメドレー他の予定

14:00 開演（開場 13:45） 入場料/一般 1000円・市民の会会員 800円・手帳をお持ちの方 500円

企画・協力/旭区民文化センター・サンハート 要予約（25名）

☆ 絵手紙でつなぐ6人展 10月16日(金)～20日(火)

11:00～16:00（最終日 15:00） 入場無料 絵手紙作家6人による作品展。

昨年の「鮎澤のり子展」が縁で生まれた企画です。企画協力・サポート/ほっとぽっと文化班

我が街の便利な『とんぼ屋』 助っ人募集中 ～仕事の依頼も待ってます

「市民の会」が運営する便利屋「とんぼ屋」では、障害の有無、年齢、資格を問わず、自分にできることで人の役に立てたらいいと思う人のご参加を待っています。これまでの例では、そうじや草取り、家具移動、ゴミ捨て手伝い、リサイクル品の引取・配達、外出付添、パソコン書類つくりなどがあります。犬の散歩、将棋の相手でも何でも…これならできそう…ということであなたも参加してみませんか。

→お問い合わせは「ほっとぽっと」ピアスタッフ・関、スタッフ・岡田まで



★ 理事会報告

(第22回) 5月28日(木) 19:00~ <出席理事> 9名 (委任状1名含) (欠席2名)

<内容> 今回は前期繰越金修正の件、2008年度事業報告・決算、2009年度事業計画・予算案、

理事改選案等、総会議案の審議を中心に行いました。次回は9月4日(金)に開催。



◇◆◇【入会ありがとうございます】(3/15~7/31) ◆◇◆(敬称・略)

正会員・・・本間寛史 賛助会員・・・中川泰雄(あさがお協力隊) 久喜さとみ

編集後記



✿ 7月中頃の昼下がり。私のちょっとした油断から、右足裏を細かいガラス片で切ってしまった(スリッパを履いて、別館のキッチンに入れば良かったのに…).突然のかなりの出血にびっくり。でも、ほっとほっとの職員(ピアスタッフさんも)さん達の素早い対応のおかげで、大事にはなりませんでした。お互いに安全生活を心がけましょう。・・・松元

*暑い夏もそろそろ終わりです。秋らしい落ち着いた生活にモードを切り替えていけたらなあとと思うこの頃です。・・・森

✿ 来る日も来る日も、朝から晩まで、セミが鳴いています。そして今日は朝から町内の祭り囃子が響きわたり、居ながらにして「夏を満喫」できるほっとほっと。仕事がすごくはかどります(?) 今晚は寝床でもきっと、ジージー、ウォーンウォーン、ミンミン、ドンドコドンドン・・・ですね。(セーミンドーニュ一剤をもらったほうがいいかな)・・・川田

✿ 今年の夏は(も)ETCの恩恵もサマージャンボ宝くじの恩恵も受けられなかつたため、ひたすら自宅と職場をせっせせっせと往復させて頂きました。ヽ(^o^)ノ・・・松迫

✿ 今年の夏は、夜の暑さと睡眠の確保に奮闘しました。エアコンをつければ寒いし、扇風機じゃ暑い…文明の機器を使いこなせません!・・・高木